

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 13 号

第 13 週 (3月23日 ~ 3月29日)

発行年月日:平成21年(2009年) 4月 2日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

#### インフルエンザの警報、注意報の解除

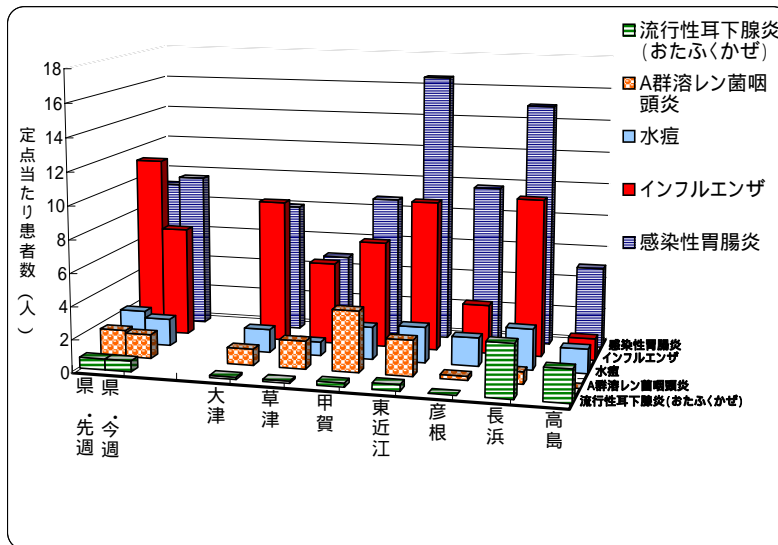
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり少なくなっています。特に、インフルエンザではほぼ半減しています。インフルエンザの注意報は第2週(1/5 ~ 1/11)に、インフルエンザの警報は第3週(1/12 ~ 1/18)に発令されていましたが、注意報および警報ともに基準値未達となり解除されました。

今週増加した疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎で警報発生基準値を、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

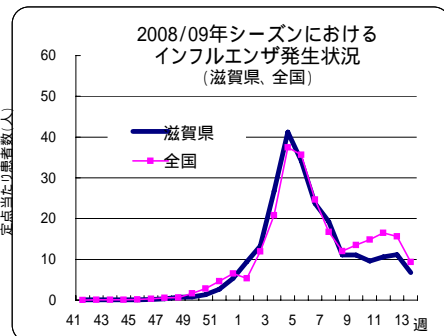
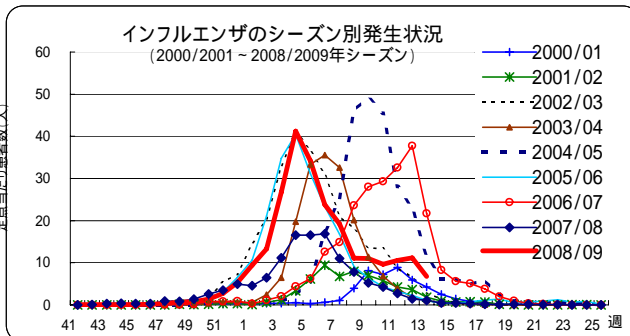
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で10名の届出がありました。

#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第13週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。インフルエンザは甲賀以外で先週より急減しています。感染性胃腸炎は東近江および長浜でかなり多くなっています。A群溶レン菌咽頭炎は甲賀で、流行性耳下腺炎は長浜で多くなっています。

#### インフルエンザの発生状況



全国および滋賀県におけるインフルエンザの発生状況はグラフに示すとおり、全国、滋賀県ともに先週より大幅に減少しています。都道府県別では山形県、新潟県、石川県、福井県、宮城県の順で多くなっており、定点当たり患者数はそれぞれ24.58、22.31、20.31、18.47、18.36となっています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	10	75	5,521	282	27,737
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	44	<sup>(*)</sup> 3	318
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	193	53	4,307
四類感染症	A型肝炎	0	0	23	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	18	2	104
	マラリア	0	0	16	1	57
	レジオネラ症	0	0	147	10	884
五類感染症	アメーバ赤痢	0	2	215	10	861
	ウイルス性肝炎	0	1	44	5	236
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	25	2	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	29	1	11
	後天性免疫不全症候群	0	2	338	11	1,532
	ジアルジア症	0	0	15	1	75
	梅毒	0	0	174	5	823
	破傷風	0	0	13	5	120
	急性脳炎	0	0	65	1	182
	風しん <sup>(*)</sup>	0	0	45	2	303
	麻しん <sup>(*)</sup>	0	0	189	39	11,005

\* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第13週(3/23～3/29) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: マラリア 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 9例
二類感染症: 結核 285例	レジオネラ症 10例	クリプトスポリジウム症 1例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 16例	アメーバ赤痢 10例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
細菌性赤痢 2例	梅毒 9例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例
四類感染症: E型肝炎 1例	ウイルス性肝炎 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
A型肝炎 1例	急性脳炎 1例	
	風しん 1例	
	麻しん 7例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第8～13週、2/16～3/29)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	8週 (2/16～)	9週 (2/23～)	10週 (3/2～)	11週 (3/9～)	12週 (3/16～)	13週 (3/23～)	9 10 11 12 13
インフルエンザ	11.11	11.04	9.61	10.57	11.15	6.78	
RSウイルス感染症	0.21	0	0.03	0	0	0.15	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.24	0.18	0.03	0.12	0.03	0.12	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.61	1.58	1.97	1.64	1.48	
感染性胃腸炎	6.79	7.06	8.03	10.70	9.12	9.61	
水痘	1.30	1.36	1.55	1.58	2.09	1.67	
手足口病	0	0.15	0.39	0.15	0.15	0.18	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.03	0.03	0.09	0.06	0.06	
突発性発しん	0.21	0.36	0.36	0.27	0.36	0.45	
百日咳	0	0	0	0.06	0.03	0.03	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.06	0.03	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.73	0.73	0.61	0.48	0.67	0.67	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0.13	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0.14	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.14	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0	0	

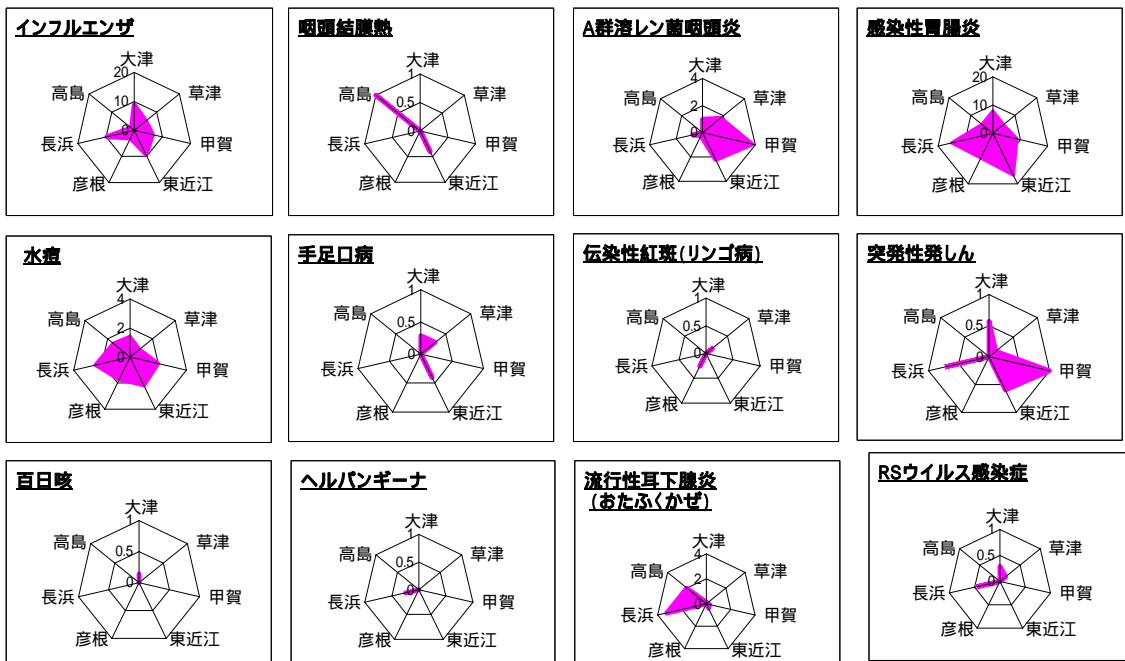
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第13週、3/23～3/29)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	6.78	8.82	5.09	6.57	9.25	3.00	9.71	1.33	
RSウイルス感染症	0.15	0.29	0.14	0	0	0	0.50	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.12	0	0	0	0.40	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.00	1.71	3.75	2.20	0.25	0.75	0	
感染性胃腸炎	9.61	8.00	4.86	8.75	16.60	9.75	15.00	5.00	
水痘	1.67	1.43	0.86	2.00	2.20	1.75	2.50	1.50	
手足口病	0.18	0.29	0.29	0	0.40	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.14	0	0	0.25	0	0	
突発性発しん	0.45	0.57	0.14	1.00	0.60	0	0.75	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0.25	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0.14	0.14	0.25	0.40	0	3.25	2.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 2 4 6 8 10  
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



3)今週の発生状況

- インフルエンザ-----全ての保健所管内の定点当たり患者数は警報終息基準値(10.00)および注意報発生基準値(10.00)未満となり、県内全域に発令されていた注意報ならびに警報は解除されました。
- 感染性胃腸炎-----東近江では先週よりかなり減少していますが、先週に引き続き警報終息基準値(12.00)を越えています。

インフルエンザにおける警報・注意報の発令解除の基準

**注意報の解除**・・・県全体の定点当たり患者数が注意報発生基準値(10.00)未満となった時  
**警報の解除**・・・警報発生基準値(終息基準値・10.00)を超える\*全ての保健所の管内人口の合計が、滋賀県人口全体の30%未満になった時(約42万人)  
 \*第13週時点で該当する保健所管内はありません。

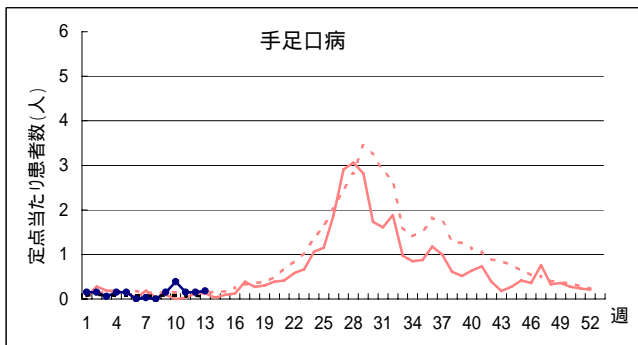
[トップページ](#)  
[に戻る](#)

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第13週)

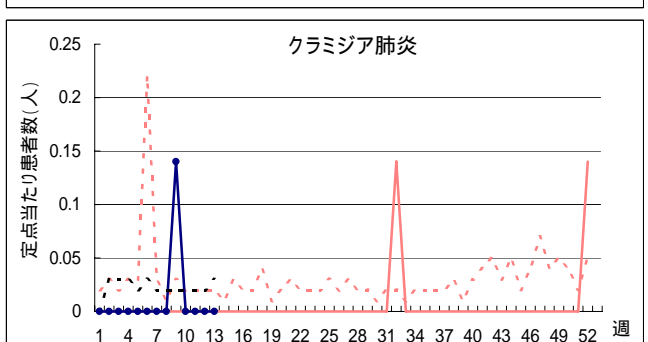
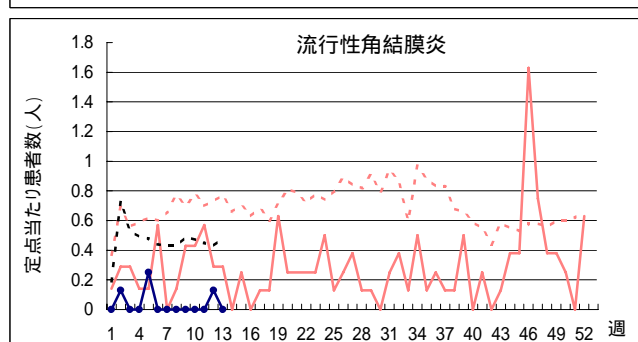
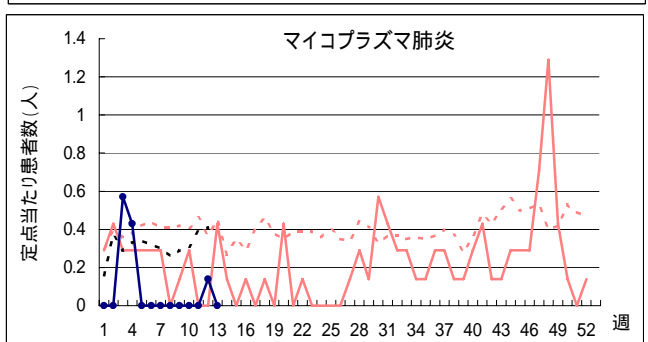
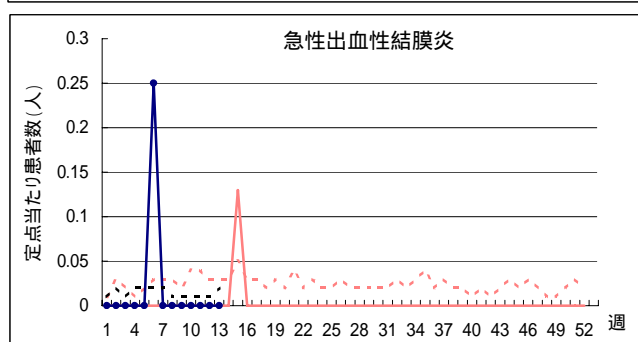
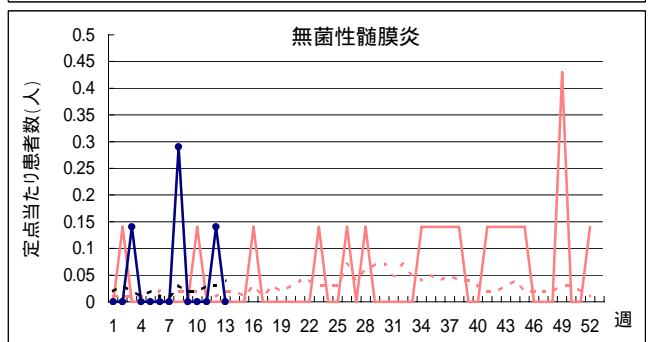
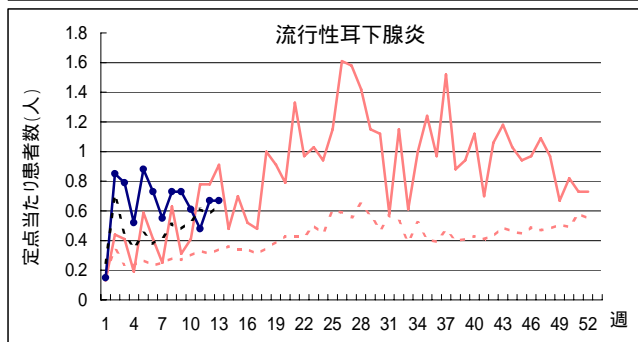
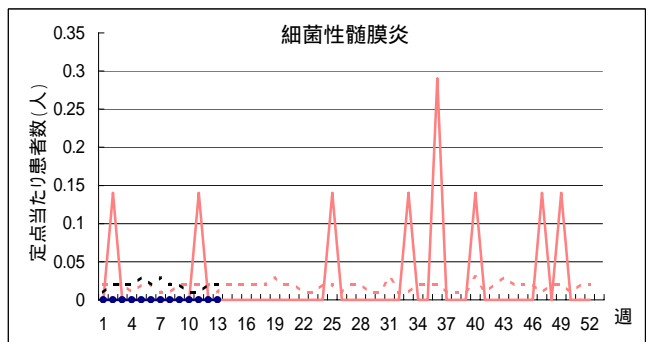
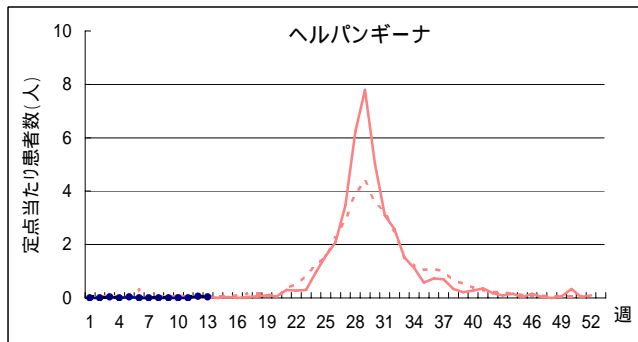
疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値	注
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.00	1.71	3.75	2.20	0.25	0.75	0	4.00	2.00	-	★ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。
感染性胃腸炎	9.61	8.00	4.86	8.75	16.60	9.75	15.00	5.00	20.00	12.00	-	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0.14	0	0.25	0.40	0	3.25	2.00	6.00	2.00	3.00	★ : 注意報発生基準値を超えています。

\*基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

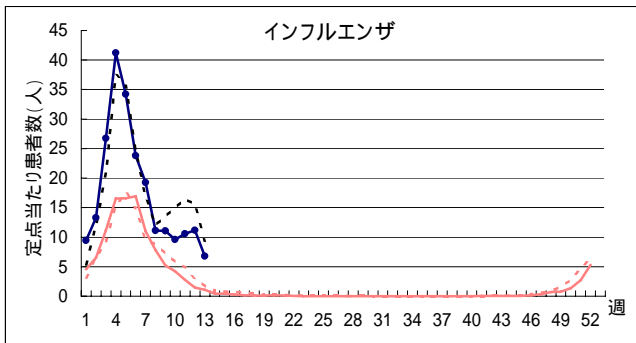
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第13週、H19.12.29～H21.3.29)



H20  
 { 滋賀 ————  
   全国 ······  
 H21  
 { 滋賀 —●—  
   全国 ······



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第13週、H19.12.29～H21.3.29)



H20 { 滋賀 ————  
       全国 .....  
 H21 { 滋賀 ●●●●●●  
       全国 .....

